



学校便り 太田っ子

令和4年1月6日

- めざす子ども像
- ㊦ もいやりのある子
- ㊦ もいっさり勉強する子
- ㊦ くましく生きる子

あけましておめでとうございます

2022（令和4）年が始まりました。家族でよい新年を迎えられたことでしょう。本年も子どもたちの笑顔と感動のために、太田小学校教職員一同頑張ってまいりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年は「壬寅（みずのえとら）」。これは厳しい冬を超えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージがあるそうです。よいことが起こるかもしれませんね。



振り返りを大切に

本日1月6日（木）より3学期が始まりました。

1学期2学期に経験したこと、学習したことを振り返り、さらなる成長をめざして、3学期の学びを深めていってほしいと思います。

それぞれの授業でも振り返りが大切です。和歌山県教育委員会から出されている「和歌山の授業づくり基礎・基本3ヶ条」には「③自身の学びを自覚できるまとめ・振り返りを行う。」とされています。そうすることで、子ども自身が自分の学びや変容を自覚し、自主的に学ぶ態度を身に着けることができるようになるということです。

冬休みに読んだ書籍（「OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来」白井俊著 ミネルヴァ書房）の中でも、振り返りの重要性について書かれていました。そこでは、「見通し」（Anticipation）「行動」（Action）とともに「振り返り」（Reflection）を「AAR サイクル」の一つの要素としてあげ、「振り返りによって、自分自身や他者の行動を客観的に評価することで、将来の行動の改善につなげていくことができるようになる。」とし、「将来の行動を自分でコントロールしたり、どういう方向に進むべきかといった感触を得ることができるようになる」と書かれています。

他にも、1日の学習を短時間で振り返ることが「メタ認知」を育てるために有効であるというふうに書かれている HP を見つけました。「こどもは様々なことで失敗や成功をくり返し、知識とスキルを身につけていきます。その中でメタ認知を発揮できれば、成功や失敗に一喜一憂するだけでなく、どのような点が特に影響したのかを分析して次に生かすこともできる」と書かれていました。（ベネッセ情報教育サイトより）

いろんな場面で、「振り返り」が重要視されています。一度お家で今日の出来事や、今日の学習についてお子さんと一緒に振り返りをしてみてください。その中で、成功したことは褒めてあげ、失敗したことはなぜ失敗したのかを分析しアドバイスしてあげてください。それを繰り返すと、次の経験や学習の時に大きく作用してくるようになるのではないのでしょうか。

学校の授業でも、「振り返り」の時間を意識して入れていくようにしたいと考えています。



新型コロナへの対策の継続を

ここ数日でオミクロン株を中心に、新型コロナウイルスの感染がまた多くなってきました。せっかくおさまり、ある程度長く感染が少なくなっていたのに、3学期の始まりと同時に増えてくるとは、困りものです。

3学期も感染予防に気を付けながらのスタートになります。お家でも手洗い、咳エチケット、三密回避など、引き続き感染予防のご指導をお願いします。